

一つのことからしっかりと —生活リズム向上に向けた家庭での働きかけ—

今年も県内のトップを切って、5月28日（土）に安田町文化センターで安芸地区PTA・教育行政研修会が行われました。

今年は、運動会と時期が重なったり、台風の影響があったりで、昨年よりも参加者がやや少なくなったものの、教育行政関係・PTA関係合わせて90名近くの参加を得て、盛大に開催されました。また、芸西村からは今年も幼稚園・保育所からの参加がありました。

今年のテーマは「心身ともに健やかで自ら学ぶ意欲のある子どもを育もう ～生活リズム向上に向けた家庭での働きかけ～」。安芸地区では、これまで生活習慣の定着に向け「生活リズムチェックカード」や各学校独自の調査等に取り組んできました。そうした取り組みの成果や課題を踏まえ、今後の取り組みの方向性や具体的な方策について考える研修会となりました。



会ではまず、安芸地区市町村PTA連絡協議会長、県教育次長さんからのあいさつがありました。その後、県教育委員会から子どもたちの生活習慣と学力・体力との関係や、学力・体力を向上させるための働きかけ、自尊感情の大切さ、自尊感情を育むために必要なこと等が県の施策と関連付けて説明されました。

説明の中では、朝食をきちんと摂る子の方が学力・体力ともに高いこと、また、適切な睡眠をとる子の方がやはり学力・体力ともに高いことがデータとともに説明され、生活リズムの大切さを再認識させられました。

続いて、安芸市立安芸中学校PTAから平成22年度「家庭学習推進事業」の委託を受けての活動の実践報告がありました。生徒たちへの温かい思いが伝わる発表で、参加者からは、「学校・家庭・地域の3つがしっかり結びあっている様子がうかがえ大変よかった」と評価されていました。

休憩を挟んでのグループ別意見交換会では、日ごろの取り組みをもとに「生活リズムの向上に向けた家庭での働きかけ」として「何ができるのか」を考えていきました。



各グループの話し合いでは、和やかな雰囲気の中、生活リズムチェックカード等を使った取り組みの成果が出される一方、マンネリ化、なかなか変わらない家庭の存在等課題も出されました。そうした話の中から、グループとして全体会への提案

